

令和2(2020)年度 看護職員就業実態調査 (病院)

<令和3(2021)年10月実施>

令和2(2020)年度 結果概要

看護職員の離職状況について

- ・常勤看護職員の離職率は 12.8%、前年度は 12.9%で 0.1ポイント減
- ・新卒新採用常勤看護職員の離職率は 10.4%、前年度は 8.4%で 2.0ポイント増
- ・常勤看護職員のうち、
通算経験3年目の離職率は 18.9%で前年度から増減0
通算経験5年目の離職率は 18.4%で前年度から1.1ポイント増
- ・退職理由は、多い順に 本人の心身不良(12.9%)、転居(12.4%)、結婚(6.8%)
新卒新採用者の退職理由で最も多いのは、本人の心身不良(35.6%)
- ・二次医療圏別の看護職員の離職状況について
常勤看護職員離職率は、高い順に 県央(14.2%)、川崎(13.6%)
新卒常勤看護職員の離職率は、高い順に 湘南東部(12.7%)、横浜(11.8%)

【今年度調査に関する補足】

- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症が拡大し、本県では緊急事態宣言を4月7日から5月25日、1月7日から3月21日の2回発出した。
- ・例年実施している設問の他、新卒新採用者への影響として入職後の研修実施状況についての調査を行った。

I 調査方法及び概要

1. 調査方法

- (1) 調査目的 : 看護職員就業状況について実態を把握し、今後の施策に活用する
- (2) 調査対象 : 神奈川県内の病院 336施設
- (3) 対象期間 : 令和2(2020)年4月1日～令和3(2021)年3月31日
- (4) 回答数 : 228施設 有効回収率67.9%(昨年度回収率70.8%)
- (5) その他 : 図及び統計表の数値は少数第二位を四捨五入しているため項目の和と計の値は必ずしも一致しない
: 未回答等のため設問により回答数が異なる場合がある

2. 回答状況等

病床数	施設数(a)	回答施設数(b)	回収率(b/a)	回答施設割合 (b/回答施設総数)
20～99	86	57	66.3%	25.0%
100～199	109	70	64.2%	30.7%
200～299	55	43	78.2%	18.9%
300～399	41	21	51.2%	9.2%
400～499	21	16	76.2%	7.0%
500以上	24	21	87.5%	9.2%
合計	336	228	67.9%	100.0%

二次医療圏	施設数(a)	回答施設数(b)	回収率(b/a)	回答施設割合 (b/回答施設総数)
横浜	132	92	69.7%	40.4%
川崎	39	25	64.1%	11.0%
相模原	35	26	74.3%	11.4%
横須賀・三浦	29	16	55.2%	7.0%
湘南東部	25	16	64.0%	7.0%
湘南西部	21	12	57.1%	5.3%
県央	32	23	71.9%	10.1%
県西	23	18	78.3%	7.9%
合計	336	228	67.9%	100.0%

R2.4.1時点の就業人数	42,825
R3.3.31時点の就業人数	40,814
平均看護単位	7.84
平均勤続年数	7.78
R3.3.31時点の看護補助者人数	8,861